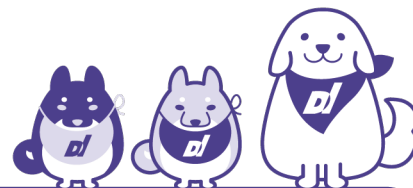




つじの しんいち
辻野 眞一

担当 就労移行支援事業所
アスミル大田原



みなさんこんにちは。今年も早いものであつという間に半年が経ってしまいました。この2年間すっかりお家時間も慣れてしまいましたが、やっと外に出られると思ったら梅雨の季節となってしまいました。そんな時は、家でゆっくり映画でも観るのもよいと思います。

今月のお題は「尊敬する人は」とのことですが、尊敬する人は年と共に変わるものです。私はと言えば、かつては戦国武将や中国の思想家であったのですが、今は何と言っても「オードリー・ヘップバーン」です。1953年に「ローマの休日」で24歳にしてアカデミー賞を受賞し、その後も数々のヒット作品を世に残し、伝説的な大スターとなり、世界中から愛されたオードリーでしたが、その生涯は波乱に満ちたものでした。2度の離婚と3度の流産を経験し、晩年はユニセフの親善大使となり世界中を飛びまわり63歳の若さでこの世を去るまで、ひたすらに人を愛し続けた人生でした。詳しくは、この紙面では語り尽くせませんが、生涯人の悪口を言わなかった人だと言います。「デザイナーズシューズを履いたマザーテレサ」と人々から呼ばれ、最後の言葉は「後悔していることがある。ダライラマに会わなかったこと」と言い残してこの世を去りました。オードリーの生きざまに感動いたしました。